

おたのまかん新聞

2009年 新春号
2009年1月 発行

岐阜県議会議員
松岡正人
県政活動報告

県議会議員としての自覚



総務委員会ぎふチャン視察にて

私が岐阜県議会議員に選出していただいてから、まもなく2年を迎えようとしています。ほとんど休日もなく毎日スケジュールに追われながら、物事をじっくり考えたり振り返ったりできないままに、精一杯頑張っただけで参りました。2度目のやらなあかん新聞を作成するにあたり、初めて発行した時よりも皆さんに何を伝えるべきなのか、また自分自身が何を伝えたいのかと随分考えました。この新聞を作ることは、市民の皆様に対して県議会議員としての私からの発信と自分自身の反省という点で大変重要であると感じております。

ある支援者の方から「今の日本には自覚を欠いた人材が増えすぎた。だからいろいろなトラブルやモラルハザード(倫理・道徳観の欠如)が起きるんだ。」とお聞きしたことが非常に印象に残っています。食品偽装問題や食の安全を脅かした事故米の問題など、日本人の気質としては信じられないような事件が多発しました。それぞれの立場で自覚を持ってプロとして責任ある対処がされていれば、消費者である国民が不信や不安を持つことなく、安心して安全な生活ができていくはずなのに…と感じました。立ち返って、私の県議会議員としての自覚は大丈夫なのか? 「県議会議員の自覚」と題してあいさつ文を書かせていただいたのは、もうすぐ4年の任期の折り返しを迎えようとしている私自身が、今一度初心に立ち返ると共に今後何をしていくべきなのかを改めて考えるべきであると感じたからです。

平成20年はアメリカ発の金融ショックで世界的な景気の減速のために、株価の下落や円高など日本の国民生活や企業も大変な打撃を受けながら終わり、岐阜県にとっても財政状況がただでさえ厳しい状況であったうえに、60億円以上の税収減が余儀なくされつつあります。行政も市場経済から多大な影響を受ける時代であると感じますし、市場原理に勝ち抜かねばならない時代であると感じております。無駄を排除しながら、目まぐるしく動いていく時代に立ち遅れないように迅速に、いかに市民の皆様の求めている施策を行っていくのか、政治が重要な役割を果たさなければいけない時代であると感じます。

皆様に県政に対してより多くの関心を持っていただきながら、いろいろなご意見をお聞かせいただき、県政に反映していくことは私の重要な責務です。県議会議員としての自覚をしっかりと持ちながら身近で親しみやすい議員として、皆様との対話を大切に頑張っていく所存でございます。一層のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



検索

知事

県議会

警察本部

教育委員会

powered by YAHOO! JAPAN

岐阜県のホームページご覧になったことは?

<http://www.pref.gifu.lg.jp/>

ぎふポータル

検索

ぜひとも挑戦してみてください。

岐阜県長期構想 (平成21~30年度)

基本目標「希望と誇りの持てるふるさと岐阜県づくり」

① 安心して暮らせる岐阜県

介護や医療、障がいのある人たちに対する支援の体制を整えると同時に、県民・家庭・企業・行政などが協力し合い、災害や犯罪、火災など、様々な不安を解消し、安心して暮らすことができる岐阜県を目指します。

④ 清流と自然を守る岐阜県

先人から受け継いだ豊かな自然環境を守ると同時に、地球全体の環境を守るため、県民が一丸となって取り組む岐阜県を目指します。

5つの将来像と政策の考え方

② 人・モノが活発に交流する岐阜県

日本の真ん中であると同時に、中部圏の真ん中にあり、東西南北の結節点であるという地の利と豊富な地域資源を最大限に生かし、国内外の人たちが行き交い、企業が集まり、県内でつくられたモノや農林畜産物が活発に取引されるような活力にあふれた岐阜県を目指します。

③ 誰もが生き生きと活躍できる岐阜県

高齢者、若者、男性、女性、障がいのある人、外国籍の人など、誰もがそれぞれが望む生き方をし、社会や地域の中で自らの力を大いに発揮できる岐阜県を目指します。

⑤ つながり、支え合う岐阜県

よりよい社会をつくろうとする意欲を持ち、多様な人たちとつながり、一緒になって理想の社会を考え、実際に行動できる力を持った人々に満ちた岐阜県を目指します。

重点プロジェクト

① 安心して暮らせるふるさと岐阜県づくり

- 1 介護サービス確保プロジェクト
- 2 安心医療確保プロジェクト
- 3 障がい者自立支援プロジェクト
- 4 暮らしの安全・安心確保プロジェクト
- 5 自然災害死者ゼロプロジェクト

② ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

- 6 モノづくり立県推進プロジェクト
- 7 観光消費額増大プロジェクト
- 8 農産物出荷額増大プロジェクト
- 9 県産材出荷額増大プロジェクト
- 10 未来の交流基盤整備プロジェクト

③ 誰もが活躍できる岐阜県

- 11 人材力底上げプロジェクト

④ 美しい自然と環境を守る「清流の国」づくり

- 12 美しい緑と清流づくりプロジェクト
- 13 ぎふエコプロジェクト

⑤ ふるさと岐阜県を未来につなぐ人づくり

- 14 子どもを生き育てやすい岐阜県づくりプロジェクト
- 15 地域社会人育成プロジェクト
- 16 ぎふ清流国体・ぎふ清流大会プロジェクト

今後、岐阜県で行われる大きなイベントです!

- 2010(平成22)年 第30回全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会～
- 2012(平成24)年 ぎふ清流国体(第67回国民体育大会)
ぎふ清流大会(第12回全国障害者スポーツ大会)



2012 ぎふ清流国体

輝けはばたけだれもが主役



■ 私もイベントの成功を願い、第4回定例議会において一般質問させて頂きました。ぜひとも皆様もご参加ご協力をお願いします。

ニューヨーク市行政事情調査及び ブラジル・アルゼンチン・ペルー海外連携調査団

平成20年5月20日～6月1日

県議としての初めての海外視察。県政自民クラブの議員会長 渡辺信行県議と一期の8人の計9人の県議会議員団として、古田知事や市町村関係者の方々と共に県人会の式典や公式行事に参加させていただきました。

日程

- 5月20日(火) 出 国
- 5月21日(水) 国際連合本部 訪問
ワールドトレードセンター跡地 視察
- 5月22日(木) メトロポリタン美術館
(財)自治体国際化協会 (CLAIR) ニューヨーク事務所 訪問
- 5月23日(金) 移 動
サンパウロ市内 イビラプエラ公園、日本移民資料館 視察
- 5月24日(土) モジ・ダス・クルーゼス市 県人会主催レセプション
ブラジル岐阜県人会との意見交換会、県人会館 視察
知事主催懇談会
- 5月25日(日) ブラジル岐阜県人会創立70周年記念式典
イビラプエラ公園内先没者慰霊碑献花、日本館 視察
- 5月26日(月) 移 動
アルゼンチン岐阜県人会と意見交換会
アルゼンチン岐阜県人会創立35周年記念式典
- 5月27日(火) ギアリンクス農場 視察
アルゼンチン農場関係者との意見交換会
- 5月28日(水) 移 動
クスコ市街(世界遺産) 視察
- 5月29日(木) マチュピチュ(世界遺産) 視察
- 5月30日(金) 移 動
ペルー岐阜県人会との意見交換会
- 5月31日(土) 移動日
- 6月1日(日) 帰 国

アメリカ《ニューヨーク》



国連前にて視察団のメンバーと



クリアによるBIDの講習会

ブラジル《サンパウロ》



ブラジル
県人会の皆さんと



ブラジルにて
蘇原出身の足立忠三さんと

アルゼンチン《ブエノスアイレス》



ギアリンクス農場にて知事と一期の皆さんと



アルゼンチンにて那加西市場出身の領木さん
のご家族と共に

ブラジル
式典会場にて



ペルー 《クスコ・リマ》



ペルークスコの街角で



世界遺産 マチュピチュにて

海外視察で感じたこと

- ・アメリカのニューヨークは20年ぶりくらいの訪問でしたが、治安が格段に良くなったと感じました。BID (business improvement district) などの地域の住民や企業によるまちづくりの成果によるものであり、「地域の力」の重要性を再認識しました。
- ・南米においては、各国に多くの日本人が移民してわたり、日系人としてそれぞれの国で貢献されたこととその功績が認められ地位が確立されていると感じました。今、日本にはたくさんの日系人の方々が働いておられ、岐阜県でも外国人の方々と共生が課題となっています。歴史や文化の違いがあるものの、過去に大量の日本人移民を受け入れてもらった南米各国の姿勢を見習わなければと感じました。

平成20年 3度の一般質問 項目

各務原市西部の県道整備について

- ・川島三輪線の堤防進入路の交差点改良の進捗状況及び設計変更も考慮した今後の計画、増水時や事故等の非常時の緊急体制について 県土整備部長
- ・都市計画道路・岐阜鶴沼線の早期完成に関する考えと今後の計画について 都市建築部長

県営尾崎住宅について

- ・はしご車等の消防活動スペースが十分確保されているかどうかについて 都市建設部長
- ・入居時の防災に関する説明や住民の防災訓練について 都市建設部長
- ・駐車場管理などは第三者に任せることに対する県の考えや今後の方針について 都市建設部長

アルゼンチンアリの対策について

- ・活動と繁殖が活発化する夏までに県としての具体的な対策について 生活環境部長
- ・国の関係機関との連携状況や発生しているほかの地域との情報交換、そして各務原市に対しての支援体制と指導状況について 生活環境部長

地産地消・食育・農業の連携について

- ・学校給食における県内の農産物の使用割合が現状どれだけあるのか、また今後の目標水準やそれを達成するための具体的な方策について 教育長
- ・就学前、小学校、中学校それぞれの時期に応じた食育の方針や施策について、またその運営に対して、市町村や保護者との連携を図ることができるようなシステムが構築されているかについて 教育長
- ・産業として儲かる農業を実現するため、消費者のニーズに対するマーケットインによる農産物生産など消費者の視点に立った農政の推進について 農政部長
- ・食の安全が注目されている今、県民の地元農産物に対する意識が向上する為の具体的な施策について 農政部長

3月6日 第1回定例議会にて

外国人との共生について

- ・外国人との共生に関する県の方針、国や市町村との役割分担について 知事
- ・ブラジル児童に対する教育に対しての県の取り組みと今後の施策について 教育長
- ・外国人に対しての相談体制や整備などの施策について 総合企画部長

儲かる農業の育成について

- ・産業として経営が成り立つような農業の人材育成や支援について 農政部長
- ・「岐阜県農商工連携ファンド」を農業振興にどのように活用していくのかについて 農政部長

6月30日 第3回定例議会にて

全国豊かな海づくり大会について

- ・農政部だけでなく林政部や環境生活部など全庁的な連携と取り組み体制をどうしていくのか 農政部長
- ・開催地(関市、岐阜市)以外の市町村との連携や波及効果について 農政部長

ぎふ清流国体について

- ・機運を盛り上げるための市町村との連携に関するこれまでと今後の取り組みについて ぎふ清流国体推進局長
- ・県職員の国体への意識や想いを盛り上げるための取り組みについて ぎふ清流国体推進局長

文化施設における指定管理者制度の導入について

- ・これまでの県立図書館のコスト削減やサービス向上の努力について 教育長
- ・図書館以外の文化施設についても指定管理者制度の導入を検討し始めているのか 教育長

10月1日 第4回定例議会にて

岐阜県の食料自給率 40% ↑ ↓ ... なんと 25%

私は県政報告会や後援会事業など皆様にお話しさせていただく機会に、たびたび岐阜県の食料自給率についてお尋ねをします。国の食料自給率が40%であることをご存じの方は比較的多いのですが、岐阜県の食料自給率についての認識はとて低ということを実感しているからです。国の自給率よりも県の方が高いと思っている方が非常に多いというのが現状です。岐阜県の食料自給率は、25%です。その数字を皆さんがお聞きになられると「なんでそんなに低いのか?」という率直な質問を投げかける方も多くあります。森林面積が82%を占めており耕作可能面積が少ないことや海に面しておらず水産資源がないという原因が挙げられます。少しでも岐阜県の食料自給率が向上するように皆様にご理解を頂き、地産地消つまり岐阜県産の農作物のご購入にご協力いただければと存じます。

頑張れ！麻生首相

総理大臣に就任されてすぐに解散総選挙が、行われるのではと報じられていましたが解散もなく衆参のねじれ国会をひきずりながら、内閣支持率は下がっていくばかり…。経済人としての素晴らしい感性と思切りや歯切れの良さが人気の源であったはずなのに…。



名古屋にて麻生総理と

麻生首相！地方(岐阜県)は財政的にも大変厳しい中、知事・議員・県職員そして県民あげて、ムダの排除と財政再建に向けて頑張っています。首相のおっしゃってみえた「日本人の勤勉な国民性」「日本の底力」は、間違いなく素晴らしい国家の財産であり潜在能力ですから、官僚や野党に負けないで、地方分権や日本の改革を押し進めて下さい。

平成20年11月21日 東京にて「都道府県議会議員研究交流大会」が開催された際、藤井孝男参議院議員にお世話いただいて「平成研究会」事務所にて2人の大臣とお話をさせていただきました。

少子化に待ッタなし!

人口減少、少子高齢化がどんどん進んでいます。団塊の世代ジュニア(昭和46～50年生)といわれる若者たちが、40歳になるまでのここ数年が少子化対策の大切な時期であり、逸してしまうとつまり少しでも多くの子供を産んでもらわないと、少子化は一層深刻な問題になります。

平成研究会にて
小淵少子化大臣と



サザエさんからクレヨンしんちゃんの家族に…??

人口が減少しているにもかかわらず、世帯数は増加しています。家族単位が小さくなっていることをマンガでうまく言い当てているのではないのでしょうか?少子化や教育、高齢者福祉にとって、家族単位の縮小化は大きな障害になりつつあり、地域の絆や相互扶助が一層求められるようになった要因です。

お米を食べる生活をもう一度!

石破農水大臣 談「農業は大切な産業!金があれば食料が買えるという考え方では、国家としていかなものか?日本の食料自給率は40%であり、先進諸国の中ではきわめて低い数字である。50%を目指して消費者の方々に、自給率を上げるというのはどういうことでしょうか、そしてなぜ自給率を上げるということが必要なのでしょうかとということ整理してご説明をしていきたいと思っております。」

石破大臣と商工会議所役員の皆さん



石破大臣に対して、地方の農業の現状として「担い手不足が深刻な問題であり、労働力のシフトや担い手の育成の必要性について」「大型経営にむけて足かせになっている農地法や農地の貸借について」質問すると共に岐阜県の現状をお伝えしました。

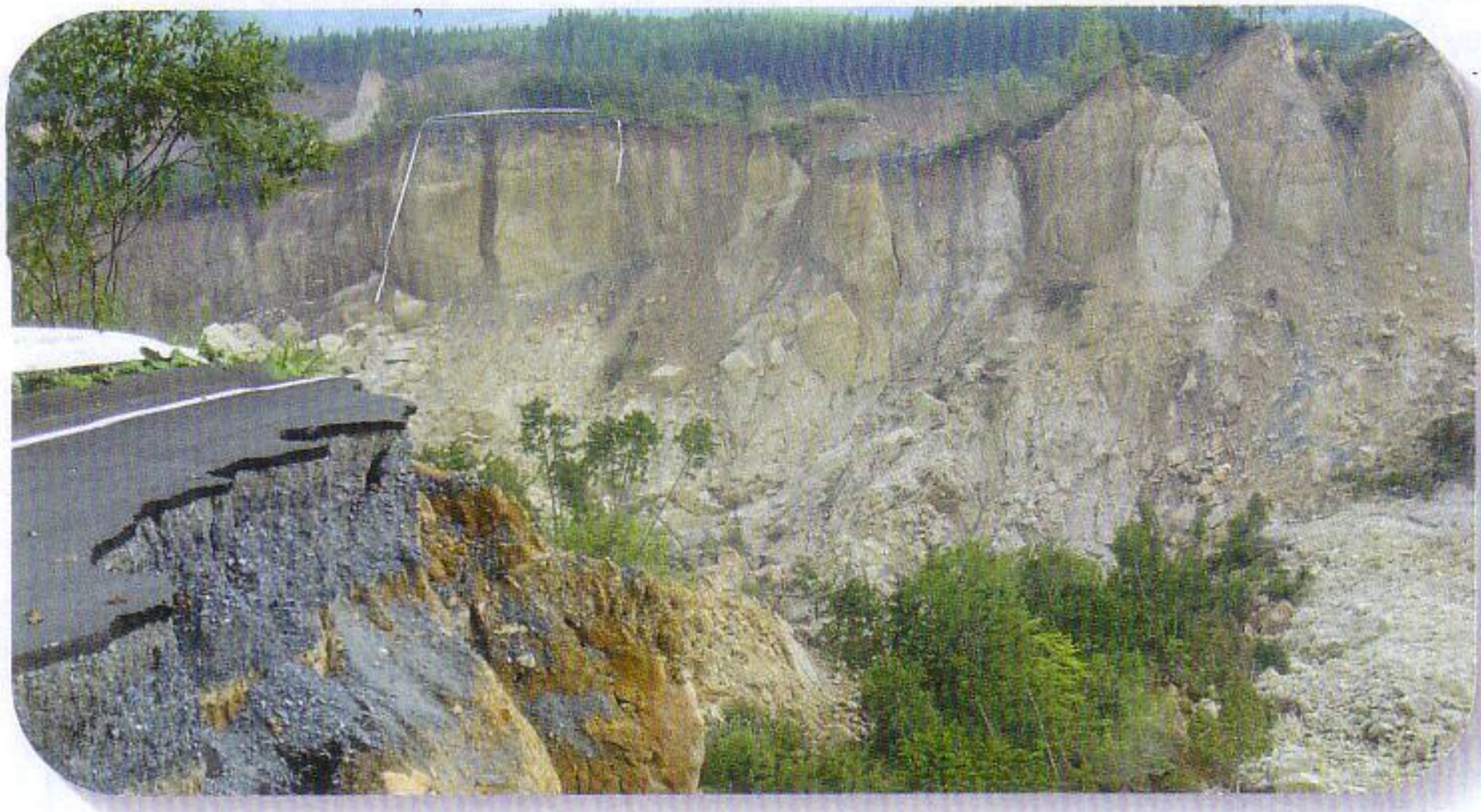


平成研究会にて鳩山総務大臣と



県政自民クラブ一期生と藤井孝男参議院議員

自然の力、その恐ろしさ



宮城地震現場・視察

平成20年6月14日 岩手宮城で地震が発生し多大な被害がありました。7月の後援会研修旅行の際に参加者の皆様からお預かりした143,808円の義援金を被災地である宮城県の栗原市に9月16日に松原連合後援会長と届けさせていただきました。佐藤栗原市長の「田舎が都会を支えている。それに対する恩返しは都会からは十分なされていない」という言葉が印象的でした。

地震発生後約3ヶ月が経過した後で、市街地はさほど被害があったとは感じられませんでしたが、山間部に車で向うと川はまだ濁った水が流れ、山が崩落した現場に降り立った時にはその惨状に驚きました。山間部の多い岐阜県においても起こりうる状況でもあり深刻に感じると共に、孤立集落となってしまう可能性や対策など県の災害に対する備えの必要を感じました。



栗原市長 面談

県政自民クラブ 県政勉強会

自民党も街頭演説やるの

日程及び研究テーマ

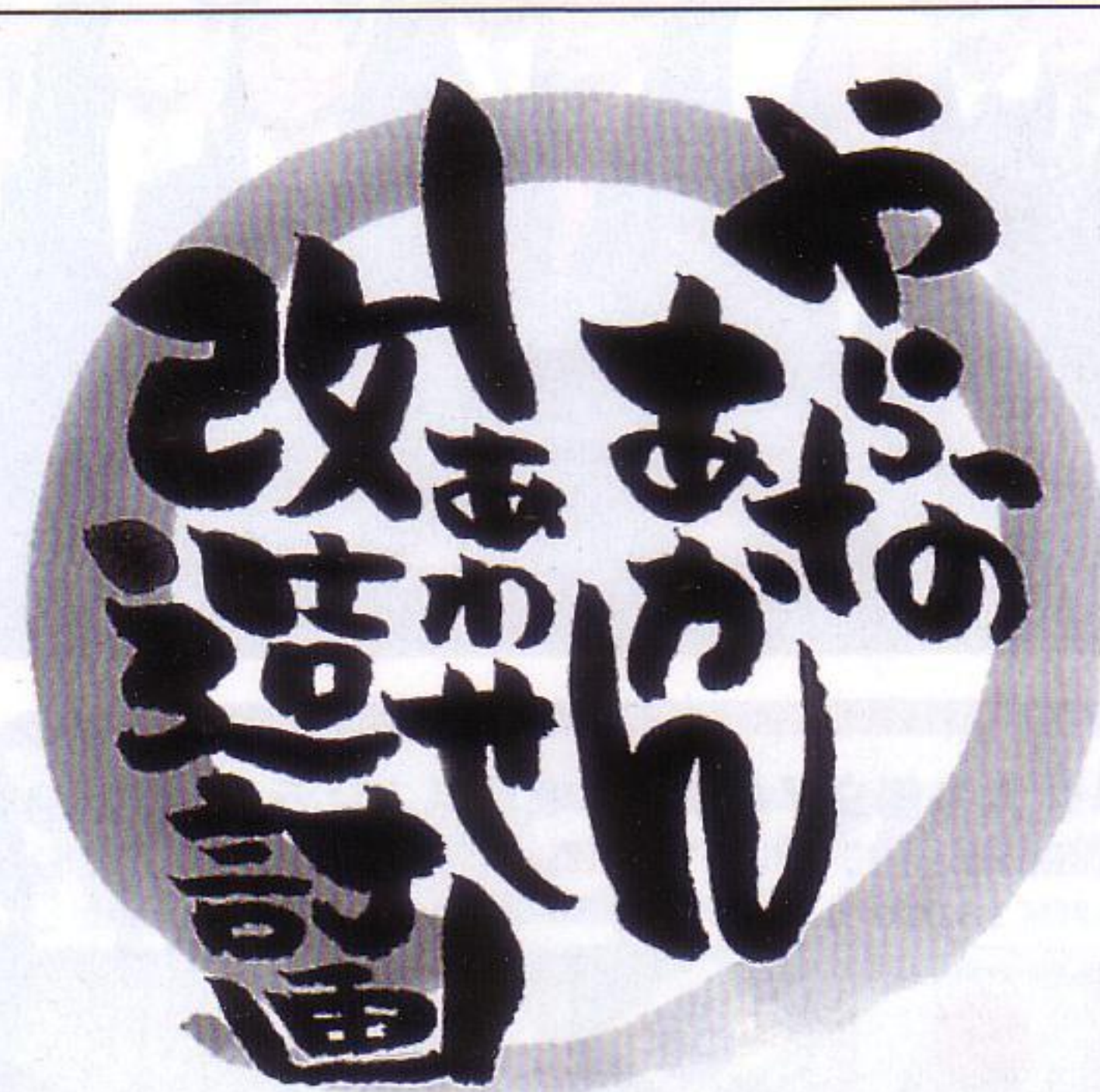
- 第1回 5月14日(水) 13:30~16:15**
◎平成20年度県政基本方針及び主要施策(総合企画部)
・県政運営3つの柱 ・平成20年度重点施策概要
◎長期構想(総合企画部)
・長期構想中間とりまとめ概要
- 第2回 6月17日(火) 13:00~14:30**
◎地域医療対策(健康福祉部)
・地域医療水準の確保と維持
- 第3回 7月10日(木) 14:00~16:15**
◎少子化対策(総合企画部)
・少子化抑制に向けた取り組み
◎中心市街地活性化対策(都市建築部)
・中心市街地活性化基本計画の概要と本県における動き
- 第4回 9月11日(木) 10:00~11:30 及び 13:00~14:00**
◎企業誘致の推進(産業労働観光部、県土整備部)
・企業誘致の現状と課題(岐阜・西濃地域のポテンシャルを含む)
・東海環状自動車道西回り区間の整備見込み
- 第5回 10月6日(月) 13:30~15:10**
◎地球温暖化対策の実施状況と効果(環境生活部)
◎廃棄物対策の現状と課題(環境生活部)
- 第6回 10月9日(木) 13:00~15:00**
◎長期構想(総合企画部)
・長期構想第2次中間とりまとめ概要等
- 第7回 10月23日(木) 10:00~12:00**
◎改正建築士法及び住宅瑕疵担保履行法(都市建築部)
- 第8回 11月26日(水) 10:00~11:30**
◎健全で豊かな森林づくりプロジェクト(林政部)
- 第9回 12月17日(木) 10:00~12:00**
◎安心な教育環境づくり(教育委員会)
・教育現場におけるいじめ、不登校、暴力行為の現状と対応策
- 第10回 1月28日(水) 《予定》**
◎農地政策改革(農政部)
・農地法等法制度の見直しに向けた国の動きと県の方向性
◎農業所得向上対策(農政部)
・品目横断的経営安定対策の現状と課題
◎地方分権改革(総合企画部)
・国の地方支分局の見直しに向けた動き
地方分権改革推進委員会による政府に対する勧告、全国知事会の動向等
・権限移譲、国と地方の役割分担
- 第11回 2月20日(金) 《予定》** ※日程については、第10回以降は仮の日程。県政勉強会開催時に次回の日程を正式決定。

自民党青年部青年局の街頭活動として、自民党第3選挙区支部として、岐阜県連の党車を利用しての街頭演説を数回させて頂きました。あるスーパーにて私が車上で演説する姿を知人が見かけたらしく、メールが送られてきました。「自民党が街頭演説するのを初めて見ました。自民党もやるのですね…」というメールを見て少しショックを受けました。

毎月第1月曜日 朝7時前からJR鵜沼駅前にて、自民党各務原支部の活動として武藤ようじ代議士と共に街頭活動をしております。私にとっては選挙に出馬を決意してから約2ヶ月毎日あいさつ運動をした場所での街頭活動であり「初心忘れるべからず」と肝に命じながら続けていきたいと思っております。



自民党党車での街頭演説



HAPPY COMMUNICATION

松岡正人事務所

〒504-0908 各務原市那加織田町2-5-1
TEL 058-389-6665 FAX 058-389-6676
メールアドレス shiawase@yaranaakan.jp